

## <申し込み時に頂いたご意見>

- ・ 上流域に暮らしている人にとっては、鴨川がきれいに映るかもしれませんが一部、下流域のゴミ不法投棄の現実を見ると、このままではいけません。不法投棄については、捨てる人がいちばん悪いのはもちろんですが、地域の人々がこの問題にもっと強い関心をもっていただき捨てにくい環境づくりをすることが大切だと思います。
- ・ 堤防の強化と共に夏草が生い茂る頃、あまり草丈がのびないうちに刈り取って頂きたい。年二回だけの草刈りは少ないと思います。
- ・ 家族が一日ピクニックして遊ぶことが出来るような一寸した東屋とかビオトープとか四季折々の花壇とか(例：春の七草とか秋の七草とか)テーマを持ったコーナーを作るとかして、公園化して皆が親子が共に楽しめる場所にしてはと思う。
- ・ 鴨川を大きく上流域（丸太町以北）、中流域（市中心部）、下流域にわける。そして、開発状況、その過程、当面・中期的目標等それぞれ明確にする必要がある。そういう意味で下流域は基本的課題が大きい。例えば、河川敷の道路整備、不用植物・不法物撤去、ジョギング等運動環境整備、自然保護等である。
- ・ 私は幼少の頃、第一室戸台風（昭和 10 年）で私が以前住んでいた近くの鴨川正面橋が決壊し、正面通り面一体が大水害になり多くの犠牲者が出たのを目のあたりに見ました。100 年に 1 度起ると予想される災害への対策を含めて鴨川下流域、特に鴨川の五条から下流の整備をして頂きたいと災害にあった一人として実感を報告させていただきます。
- ・ 下流域の中でも竹田公園あたりから合流まで自然でとても良いですね。土手ではツクシもつめ、ヒバリの声も聞こえ、蛇行しているあたりではいつも釣り人がいる…。今度の整備は地元の方々のご意見がどのような楽しみに参加いたします。一、二年前に高水敷の整備がすすんだ上流域（都市公園）を利用する者として「高水敷の芝生緑化」には疑問を持ちます。安価なのでしょう。でも単調です。今、芝生を利用している人は犬を連れた一団とゴルフの玉をころがしている人ぐらい。芝生は水はけが悪いのか、良すぎるのか、私は判断つきませんが、雨降りの時（芝生を小高くしている、ところどころ）、遊歩道へ雨が流れ出て、せっかくの真砂土舗装がえぐられてこわれています。芝生の下に敷いたらしい砂も流れ出て賀茂川に入っています。専門家にもお聞きしたいところですが、まだツメクサ（赤、白）の方が子供たちも花輪を作ったり楽しめて良いのでは？「自然な水際の整備」は是非工夫してよろしく願いいたします。

- 久我橋・京川橋、の背割りで長いあいだ不法占拠が行われ、住民の運動により立ち退き・撤去され、土壌汚染も改善されました。この地域を始め伏見区内の鴨川の整備は上流に比べ遅れているように思います。自然環境に配慮し、憩える整備をどうしていくのか、多様なご意見もあろうかと思ひます。考えてみたいと思ひます。
- 鴨川の堤防上に木を植え、(賀茂街道の様な)並木をつくり、堤防上は車は禁止し、歩行者がゆっくり寛げ、愉しめる場所にする。賀茂街道は車の通行が多く、川側には歩道もなく、人がゆっくり寛ぎ愉しめる場所としては不適になっています。残念です。

鴨川もその箇所固有の生態系のバランスがあると思われるので、その生態系のバランスを故意に崩さない様に注意して整備する必要があると思ひます。

鴨川の水の汚染具合を常に把握出来る様にし、鴨川の水を汚す行為や事態には的確な処置や対策がとれる様に、場合によっては強制出来る様に必要なら鴨川条例の見直しもし、きれいな水の鴨川となる様に整備する様にすべきと思ひます。
- どう整備を進めていくのか全く見えない。市民への開かれた整備であってほしい。
- 「京都府民だより」より首記シンポジウム開催の案内を見ました。鴨川整備にぜひお考えいただきたい事項にホームレスの方々の橋架下の居住に係る件があります。

私、上賀茂神社の近くに住んでおりますが、御菌橋西面橋架下の「汚れ」には閉口しております。

「世界一美しい町京都」を唱え、世界遺産に登録されている上賀茂神社に架かる橋「御菌橋」！

そこでぜひご検討願いたいことですが、数年後に拡大への工事が予定されておるよう聞いております。その際ぜひ居住できないよう(大きくネットを張るとか道幅を小さくするとか)お考えいたきたく御願ひいたします。
- 現在鴨川の中に堆積された土の中州を除去する工事がされていますが、その工事は良いのですが、鴨とか弱い鳥類が、止まる場所が無いのは風情が無くなります。考えていられると思ひますが、工事の目的や将来像が鴨川の横に住んでいる者も情報がありません。工事の内容が分かるようにして欲しい。既に告知してあるのなら、何に出ていましたか。府民新聞ですか。沿川住民に分かるようにして欲しい。

しかし、二条大橋下流のきれいな鴨川の流れが、観光都市として胸を張れます。ありがとう。美しい流れを住民が大切にしないではいけません。

## <会場及びシンポジウム後に頂いたご意見>

- ・ 植物園へ行くとき、上流を眺めてきれいと思っていたが、ここ 10 年ほど汚くなったという印象を持っている。砂が溜まり中州が大きくなり、水の流れがほとんど見えない。この前通った時は、少しきれいになっていたが。岸边だけでなく、水の流れの整備についても御願いたい。
- ・ 河川敷で耕作しているが、それが許されるのであれば、貸し農園、市民農園などの整備も考えてはどうか。
- ・ 少年期に塩小路橋辺りの鴨川で水遊びした事を懐かしく想うと共に、子供が親の監視から離れて冒険心を満喫でき、自分の成長のステップにできたことを回顧しています者として
  1. 水辺や川中で遊べるような鴨川にして欲しい。そのためには、安全な遊び場の管理、水質保全や水探・きれいな川の流れなど維持する配慮を要すると思います。
  2. パリ市民がバカンス中に海浜へ出かけられずに、セーヌ河畔でくつろいでいる風景を鴨川でも実現できれば有難いと思います。
- ・ 御池～四条のように河川敷がイベント会場にならないように自転車は通行不可になるように願います。

増水の際にすぐに逃げられるようにまた、浸水しやすい所には危険がわかるように標示し増水予想が表示できるように希望します。整備計画に地域の文化的・歴史的視点が欠けている。

次世代の子供たちのためにグラウンド整備（野球・サッカー）も希望します。
- ・ 出町柳駅からすぐの通称デルタと呼ばれている周辺をきれいに整備なさいました。亀の型をした飛石もきれいにされ清流がおだやかに流れ、休日は家族連れで大変にぎわっております。これからお花見です。さぞや桜もはえることでしょう。

鴨川が昔より続く歴史的役割を、私たち現在ましてや未来の子供たちのためにも整備して取りくまなければいけないと思います。新聞・テレビ等で野鳥、魚等に関して反対の意見もみうけられますけれど、その点を専門家の方々に聞きたいと思います。
- ・ 鴨川下流と限定した場所を考える中で、もっと特色あるものが無いのかというのが素直な感想。自然が、上流域と比べて残っているのなら、それをいかした整備方針が欲しい。府の計画は、他の川（例えば自宅近所の安威川）とあまり変化が無いので、面白味が無

い。鴨川の水は、クリーンハイクで感じたが、都市河川としてはかなりきれいだと思うので、ホテルでも育ててみたらと思う。自然が地域や行政によって守られていることを示すには、いい手段なのではないか。

- ・鴨川は長い歴史の中でできてきた。だからこそ文化と一緒に育まれてきた下流整備はゆっくりやるべきだ。都市は時代・時代の精神でつくられる。

上・中流がそうした流れを背負ってできたのだから、今現在この整備に携わっている人たちが性急にやるべきではない。骨格（不法侵入防止程度のこと）のみとして、後は後世の人にまかせるべきではないか。

- ・パネリストの皆様方の活動について、すばらしく感心して聞かせていただきました。また、パネルディスカッションでは、下流域の整備について、治水と地域のニーズを反映した整備が必要だと感じておられると受け取りました。

金田様からは、今は、白紙のキャンパスにどんな絵を描くのか決めるそのような状態と説明されました。

大変素晴らしく、また、責任重大なことを決めていくのだと感じました。

30年後、それ以上先の未来を創造して、基本プランを立てていく。

それは、地域に愛された計画でないといけないうように感じました。

地域のニーズを推し量る方法の一つとして、大規模なアンケートを行ってはどうかと思います。

今の色々な世代の意見を聞き、30年後の未来に、今より素晴らしい環境をプレゼントするために。今の子供たちが大人になった時に、誇れる川を残すために。

今の子供たちにアンケートをして、どんな川だったら遊びたくなるのか？なぜ、今は鴨川で遊んでいないのか？等

小学生、中学生、高校生に。また、その親に。子と親が対話して、鴨川について、考えてくれたら大変素晴らしいと思います。

また、昔の鴨川を知っているお年寄りの方から、素晴らしかった川での思い出、良くなった今の川のこと等を知ることが出来たら、どんなに素晴らしいことか。

地域の思いを知ることが出来る方法の1つと考えます。

## < 鴨川府民会議で頂いたご意見 >

(第7回)

- ・ ジョギングロードが出来たら、陸上競技の練習に使われるなど一般の人が利用しにくくなるのではないかと。散策路を分けて、幅を広くとってほしい。
- ・ 繁茂しすぎた低木の撤去にあたっては、利用可能な木をできるだけ残し、季節の花木などを楽しめるようにしてほしい。
- ・ ジョギングロードをサイクリングロードとして使われると困る。
- ・ ジョギングロード整備事業の名称については、特定の利用に特化するよう適切でない。
- ・ ジョギングロードが、京都にふさわしいものか十分な検討が必要だ。

(第8回)

### 【舗装に関すること】

- ・ 柔らかすぎる舗装は耐久性に問題があり、鴨川の川風で砂塵が舞う。
- ・ ジョギングロードという名称ではなく、歩行者目線で「ジョギングも出来る遊歩道」というような名称とすべきだ。

### 【御池から四条の高水敷整備に関すること】

- ・ 右岸高水敷の整備においては、平板舗装で行うと自転車を誘導することになるので、平板と柔らかい舗装に分けて整備したらどうか。
- ・ 四条辺りの右岸高水敷は、自転車・車いすが進入できる坂路がない。
- ・ 左右の高水敷の機能を分けて考えるほうが合理的だ。
- ・ 河川敷は、自由使用が原則だ。歩行者と自転車を分離する必要はない。
- ・ 御池・塩小路間の左岸高水敷は、利用者が多いことから、幅を広げられないのか。

### 【自転車利用に関すること】

- ・ 自転車の利用が多くなったのは、洗い出し平板のように走行しやすい材質となったためではないのか。
- ・ 四条付近で自転車利用が多いのは、河原町通の歩道を通行出来ないためだ。
- ・ 現在の自転車ニーズを無視することは出来ない。幅のある場所は、分離すべきだ。
- ・ 隣接する川端通の歩道へ自転車は誘導すべきだ。
- ・ 自転車専用道路の議論は、慎重に行うべきだ。
- ・ 自転車利用が多いのか。通勤・通学以外に河川を楽しむ自転車利用もある。
- ・ 日本の歩道は、歩行者と自転車の区分がない。自転車専用道路を整備する方向ではないと思う。

### 【植栽に関すること・その他】

- ・ 橋梁付近は、ランドマークとなる高木を植栽した方がよい。

- ・ 下流の整備を検討するのであれば、その周辺住民の声を聞くべきだ。
- ・ 四季が感じられる植栽が良いのではないか。
- ・ ゾーン毎にコンセプトを決めて植栽を考えるようにしてはどうか。
- ・ 鴨川からの大文字などの眺望の観点で樹木管理を行うべきだ。

(第9回)

- ・ 橋梁名称が河川利用者の視点でわかるように桁等を書けばどうか
- ・ バードウォッチングには、四阿やトイレの設置が必要
- ・ 自転車の乗入れを認めるのか否か、また乗入れを認める場合、歩行者と分離するのか否かを検討する必要がある
- ・ 基本的な考え方には、中流域のことが十分記述されていない
- ・ 樹木管理や利用者増加について市と連携の仕方も検討すべき
- ・ 鴨川に係る資料館を設置したらどうか
- ・ 堤防道路の両側に植樹して、賀茂街道のような並木道にしてほしい
- ・ ベンチや柵は、源流の間伐材を利用すればどうか
- ・ 教育・文化のためにクリエイティブな視点で整備することが大事
- ・ 高水敷にみそそぎ川のような水路を設け「ホタルの小川」とし、学習の場に活用すれば、学校や地域と連携できる
- ・ 川の底ざらいは、町衆がやってきた歴史がある。地域の連携を図る取組を検討する必要がある
- ・ 源流域の水質や土地利用に係る計画も考えてはどうか
- ・ 合流式下水道の改善の取組など市との連携も必要

## <地域などから頂いたご意見>

### <整備内容について>

- ・ 広大な河川敷を誇る鴨川は、らくなん進都の重要な景観要素であるとともに、環境共生や憩いの場として市民生活に重要な役割を果たす資産であることから、「らくなん進都（高度集積地区）まちづくり推進プログラム」においても、うるおいあるオープンスペースとして活用していくこととしている。今回の整備内容は、それを具体化するものであり、早期の実現を期待する。
- ・ 歩行者と自転車の両者に配慮した鴨川へのアクセスの確保をお願いしたい。（進入路のスロープ化など）その際、バイクの侵入防止や、身体障害者の方にも配慮し、車椅子等の進入が可能となるような措置をお願いしたい。
- ・ らくなん進都では環境まちづくりの取組として緑化の推進を挙げているので、鴨川においても、堤防強化や水害対策に十分配慮したうえで、季節感あふれる緑化整備を進めてほしい。また植栽する樹種の選定等について、可能な範囲で地元住民の意向を取り入れてほしい。

### <草刈り等の日常管理について>

- ・ 堀川合流部などでは管理者が分かれており、縦割りで、草刈り時期の違いなどが生じているので、それぞれの管理者間で情報共有・調整をしながら管理を行っていただきたい。
- ・ 洪水時の水の流れをよくするため、桂川合流地点より川上へ1 km付近に茂っている雑樹木の伐採をお願いしたい。
- ・ 整備が進み、魅力的な鴨川になれば人も集まるが、ゴミも増える。それを幅広い連携によりきれいにするというシステムを構築していく必要がある。その中で、日々の清掃等の管理について地元との連携を求めるのであれば、地元住民等の意向を反映するようお願いしたい。

### <不法投棄等の対策について>

- ・ 鳥羽大橋～名神高速道路間の右岸にあるゴミや車両等の大量の不法投棄の撤去をお願いしたい。
- ・ 堀川合流部における堀川左岸の不法耕作，ホームレス対策をお願いしたい。

### <水害対策について>

- ・ 水害を防ぐため、堤防並びに河川敷の定期点検・整備をお願いしたい。
- ・ 大雨・洪水等の警戒情報を迅速に、わかりやすく住民に提供してほしい。

### <その他>

- ・ より良い鴨川の整備に向けて、今後も情報提供をしていただき、連携していきたい。

- 水たまりや凸凹が出来ている箇所がある
  - ジョギングなどの運動にはやわらかい舗装が良い
  - 土ぼこりがひどいと聞いている箇所もある
  - 三条付近は風致地区でもあり土系舗装の方が良いかも
  - 三条付近右岸は、ジョギングを誘導するような整備をしたら怒られるかもしれない
- 
- 河川改修は、下流からしていくものではないのか？
  - 堀川合流部の飛び石は、堀川が急に増水することから、非常に危険であり、設置はやめた方が良い。
  - 河川清掃等を地域の小学生にやってもらっている。感謝状などを出してあげて欲しい。
- 
- 京川橋付近もだいぶ綺麗になったが、左岸の方が整備されている。右岸もがんばって欲しい。
- 
- 鴨川整備において、トイレの設置をしっかりと考えること。
  - 七瀬川の整備時に桜はダメと京都土木に言われたが、並木整備は桜で行うのか？
- 
- 鴨川整備は上流ばかり進められ、言葉は悪いが差別を受けているようだ。
  - 公共事業は八場ダムのように時間がかかりすぎ社会情勢が変わってしまう。
- 
- 下流域も少しずつきれいになっているが、上流と比べるとまだまだ。また、草刈りや清掃等の頻度も上流の方が頻繁に行われている。
  - 整備に併せて、トイレもしっかりと考えてほしい。
  - 以前、低木植樹を地域でやりたいと土木事務所をお願いしたが、断られた。